

第2章 未来を切り拓く力を育む教育

中野区が目指す人間像

【教育理念】

「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」

- ◆ 子どもたちは自分の可能性を伸ばし、豊かな人間性・社会性や確かな学力、健康・体力などの「生きる力」を身につけている。
- ◆ 一人ひとりが自立し、社会の一員として、生きがいをもって生活をしている

【目指す人間像】

1. 生命を尊重し、やさしさや思いやりの心をもつ人
2. コミュニケーション能力を高め、豊かな人間関係をつくる人
3. 自ら考え、創意工夫し課題を解決する人
4. 自らの健康や体力の増進を図る人

＜中野区教育ビジョンから＞

- 目指す人間像を中野区の子どもたちのあるべき姿としていくうえで、留意しておくべきことは次のとおりである。
 - ・ 多様な人々が暮らす社会において、すべての人が自分をかけがいのない存在であると認識するとともに、自他の生命や人権を尊重し、互いの理解を深めるためにコミュニケーションを図り、あらゆる偏見や差別をなくそうとする心が広く社会に定着することが求められている。
 - ・ 子どもたちが、将来、地域社会や国際社会の中でさまざまな形で貢献する人として成長するため、子どもころから地域の文化や伝統などに触れ理解すること、人との関わりの中で協力することの楽しさや社会の中で自分が役立つ喜びを通して、社会性や規範意識、思いやりの心、郷土を愛する心、自己有用感などを育むことが大切である。
 - ・ 基礎的・基本的な知識や技能はもとより、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの資質や能力に培うことより、変化の激しいこれからの社会で柔軟に対応する力や将来直面するさまざまな課題を解決する力を身に付けることが重要である。
 - ・ 子どもたち一人ひとりが、健康を損なう要因から心身を守ることの大切さを認識し、生涯にわたって自分の体を大切にしようとする態度を身につけ、健康の保持・増進に努めることが大切である。

教育ビジョンの概念・目標体系

中野の教育

【家庭】

子育てに責任をもち、豊かな体験と愛情の中で生活習慣や規範意識などを身につけさせ、心の居場所となっている

【学校】

生涯をとおして学ぶための基礎となる「生きる力」を育み、家庭や地域との連携により、地域コミュニティの核としての機能を果たしている

【教育理念と目指す人間像】

「一人ひとりの可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む」

- ◆子どもたちは自分の可能性を伸ばし、豊かな人間性・社会性や確かな学力、健康・体力などの「生きる力」を身につけている
- ◆一人ひとりが自立し、社会の一員として、生きがいをもって生活をしている

- ◆生命を尊重し、やさしさや思いやりの心をもつ人
- ◆コミュニケーション能力を高め、豊かな人間関係をつくる人
- ◆自ら考え、創意工夫し課題を解決する人
- ◆自らの健康や体力の増進を図る人

身近な環境の中で個人の成長が育まれる幼児期

集団の中で自立の基礎を培う
学齢期

社会の中で自己実現を図る区民

【地域】

行事や体験をとおし、子どもたちを育むとともに、一人ひとりが主体的に学び、個性や能力を生かし、お互いが支え高め合っている

【 目 標 】

幼児期

I 人格形成の基礎となる幼児期の教育が充実し、子どもたちがすくすくと育っている

学齢期

II 地域が誇れる魅力ある学校づくりが進み、子どもたちは生き生きと学んでいる

III 子どもたち一人ひとりが意欲的に学び、基礎・基本を身につけ、個性や可能性を伸ばしている

IV 子どもたちは健康の大切さを理解し、心身ともにたくましく育っている

V 人権尊重の理念が広く社会に定着し、子どもたちの豊かな人間性・社会性が育っている

生涯を通じて

VI 地域における学習やスポーツが活発に行われ、活動をとおしての社会参加が進んでいる

VII 子どもから高齢者まですべての区民が文化や芸術に親しみ、生活の質を高めている

VIII 主体的な教育行政が行われ、充実した教育環境の中で学ぶことができる

共 通 の 基 盤 整 備